中間報告書

令和８年９月４日現在

１　事 業 名　新見りんどう推しのFanづくりプロジェクト

２　実施期間　　令和８年　４月　17日～令和９年　２月　28日

３　事業内容

① 事業の目的・概要

・新見りんどうの知名度向上や販売促進を目的に、キービジュアルを核として、生産者が消費者へ直接プロモーション活動を行う。

・小規模産地でも大産地との競合に打ち勝つため、新見オリジナルりんどうの新品種育成と、安定生産体制の構築による独自ブランドを確立する。

・これらの取り組みにより、備中地域の花卉産地のモデルとなり、産地活性化の一助となるように努める。

② 事業の流れ・進捗状況等

＜実施したこと＞

（１）魅力発信活動

新見りんどうの知名度向上や販売促進を図るために、生産者サイドから消費者へ直接提案型のプロモーション活動を行い、新見りんどうの魅力を発信していく。

１）新見オリジナルりんどうをプロモーションするためのキービジュアル作成

新進気鋭のデザイナー「豊田　光」氏と協業し、新見りんどうの草丈の長さや鑑賞期間の長さを生かした、生花をちりばめたドレスを作成する。

ア　りんどうドレス作成

４月30日（木）

・ドレス制作デザイナーがドレス作成するにあたり、りんどう栽培ほ場（新見花卉部会長ほ場　新見市哲西町）で見学、作業体験を実施

６月27日（土）

・新見市役所会議室でドレス生地製作の市民参加型ワークショップを開催

ドレス生地作成に向け、ＳＮＳ等で参加者を募集し、生地を作成した。

部会長やＪＡからは新見りんどうの産地概要や特徴についてを、デザイナーからはドレスや今回のワークショップについての説明を受けた後、参加した約30名が、色とりどりのアクリル絵の具で、筆や手のひらなどを使って白い布に思い思いに模様を描いた。

・ドレスモデル選考会開催

新見公立大学の３年生２人、１年生１人の計３人から応募があり、３年生の２人はドレス発表会でのモデルとして、１年生１人は、ＰＲ用動画、パンフレットなどのモデルとして選考した。

イ　りんどうドレス完成発表会

９月６日（日）

・まなび広場にいみで、新見花卉部会主催の「新見のりんどうドレス」完成発表会を開催した。

・当日の様子は、マスコミを通じて大々的に発信した。

２）新見りんどうプロモーション活動

キービジュアルとなるドレスを活動の核として活用し、新見りんどうの消費者の認知度の向上、販売力の強化を図る。

ア　イベントでのＰＲ活動とりんどうの消費動向調査

８月 1 日（土）、山陽新聞本社（岡山市北区柳町）で開催された「LaLa ﾏﾙｼｪ」で、りんどうの購入頻度、購入価格帯、新見産りんどうの認知度などについてアンケート調査を実施した。

イ　りんどうフェアの開催

８月 18 日（火）、集客力が高いＪＡ直売所（旬感広場）で、りんどう記念日（（一社）日本記念日協会により認定・登録）に、新見産りんどうを無料配布し、ＰＲ活動を行った。

ウ　メディアを活用したＰＲ活動

９月１日（火）ＦM岡山で、「新見のりんどうドレス完成発表会」の事前告知と新見産りんどうのＰＲを行った。

エ　将来の購入者の育成

新見公立大と協力し、大学生がモデルとなり、りんどうドレスのポスター等を撮影し、ＳＮＳなどでの情報拡散と若者の認知度向上を図った。

オ　りんどうドレスのブライダル利用

直近で、結婚を予定している二人にりんどうドレスを提供し、マスコミを通じて大々的に発信する。

（２）魅力づくり活動

新見オリジナルりんどうの新品種を育成し、安定生産技術を確立、増産することで、ブランドを強化する。

１）新品種の育成

従来の新見オリジナル品種にない色（白、ラベンダーの２色）のりんどうの増殖を岩手県の種苗メーカーへ依頼した

２）安定生産体制の確立

・新見花卉部会での栽培勉強会の実施

講習会　３回

・高温対策のための栽培実証ほの設置

①寒冷紗を使った高温対策（葉の枯上り、蕾の着色異常等抑制）

場所：新見市哲多町

品種：「奥の晩風」

内容：寒冷紗「涼感ホワイト 30」

設置日　７月 10 日～

②ＢＳ資材を使った高温対策（枯上り等抑制）

場所：新見市哲西町

品種：「奥の波風」

内容：ＢＳ資材「マリンインパクト」1,000 倍２週間に１回散布

散布日　７月９日～　　計６回

＜今後実施すること＞

（１）魅力発信活動

２）新見りんどうプロモーション活動

ア　岡山市花き市場フェアへの参加

岡山市花き地方卸売市場が開催するフェアへ参加し、消費者へ直接働きかける。

イ　小売店での新見オリジナルりんどうフェア
広島市内の新見りんどうを贔屓とする小売店で消費者向けのフェアを開催する。

ウ　ブライダルフェアへの参加検討
りんどうは仏花としての需要が主であるが、新たな需要創出のために、今後のブライダル産業フェアへの参加を検討し、ドレスのレンタルと合わせたりんどう販売を提案するなど、りんどうの新しい販売形態を開拓する。

（２）魅力づくり活動
２）安定生産体制の確立
・新見花卉部会での栽培勉強会の実施
講習会　９月～３月
・高温対策のための栽培実証ほの設置
①寒冷紗を使った高温対策（葉の枯上り、蕾の着色異常等抑制）
調査、とりまとめ
②ＢＳ資材を使った高温対策（葉の枯上り等抑制）
調査、とりまとめ

③　これまでの成果･効果、今年度事業終了後の成果･効果の見込み

評価指標	評価方法	目標	実績
魅力発信活動	発表会、フェアなどプロモーション活動開催回数	５回	３回
魅力づくり活動	新品種育成数	２品種	２品種

評価指標	評価方法	目標	実績
出荷面積の増加	増加面積	30ａ	－
生産者の意識高揚	アンケート	「りんどう生産への自負が強くなった」回答率75％	－
新見オリジナルりんどうの栽培意欲向上	アンケート	「新見オリジナルりんどうを栽培する意欲が高まった」回答率75％	－

評価指標	評価方法	目標	実績
販路の拡大	新規取扱小売店数	3店舗	―
適切な栽培管理の徹底	栽培勉強会実施数	年間5回	年間3回

評価指標	評価方法	目標	実績
取り組み事例の広報	各種媒体への掲載回数	5回	6回

〈アンケートの参加者感想〉

④ 課題等

・プロモーション活動において、部会員は栽培、出荷で最も忙しい時期に重なるため参加が難しい

4　参考事項・資料

収支精算書見込又は収支（変更）予算書※

（収支（変更）予算書※は補助金交付申請書または補助事業変更承認申請書に添付した収支（変更）予算書のこと）

写真（データでも提出すること）

当日資料

アンケート結果　他

5　次年度以後の事業展開

次年度の事業展開	事業展開の方向性 （以下のチェック欄のいずれかに「✓」を記入してください。）
	☑ 提案団体の自主事業として収益を得て継続・拡大していくことを目指す。 ☐ 地域づくり事業として事業を継続しつつ、次々年度の自主事業化へ備える。 ☐ その他（　　）
	中期的な目標を実現させるための具体的な事業の内容